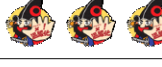


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	良町クリニック	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市南区良町4丁目1番80	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域・第二種	平均居住人員	30 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	5,000 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年8月30日	
敷地面積	2,849 m ²	作成者	安藤輝男	
建築面積	984 m ²	確認日	2013年8月30日	
延床面積	2,569 m ²	確認者	〇〇〇	

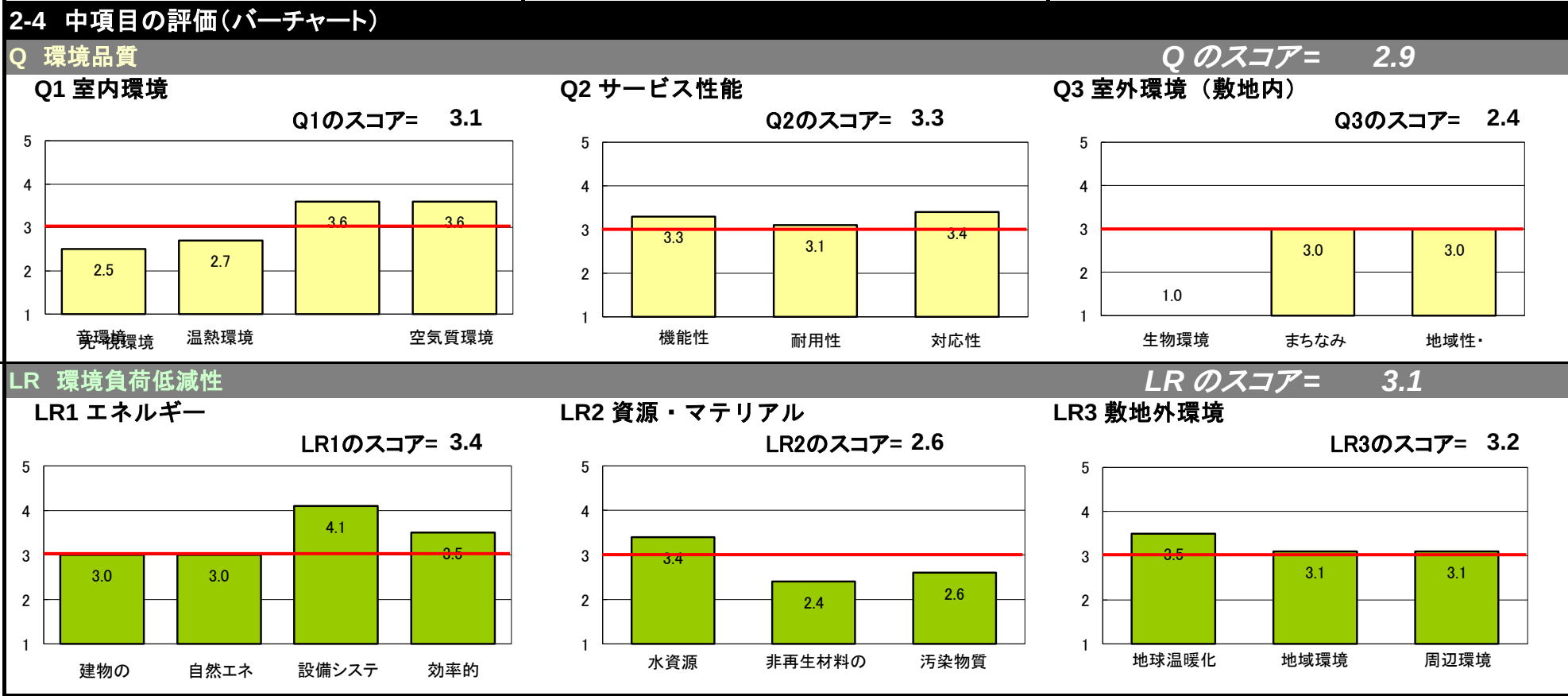
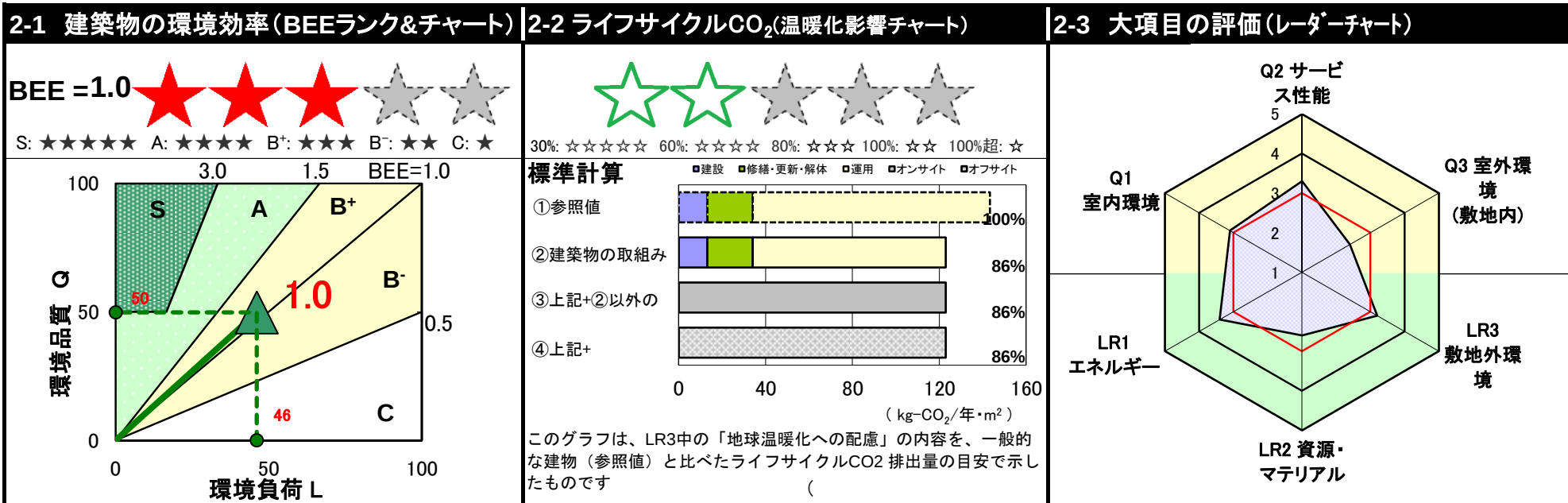
1 CASBEE評価結果																																				
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																				
		BEE = 1.0																																		
		■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																		
■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>					ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																	
			BEE値	Q値																																
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																
C	★	劣る	0.5未満	—																																
■ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)					排出率																															
				86%																																
■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>					判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																			
30%以下	☆☆☆☆☆																																			
30%超60%以下	☆☆☆☆																																			
60%超80%以下	☆☆☆																																			
80%超100%以下	☆☆																																			
100%超	☆																																			

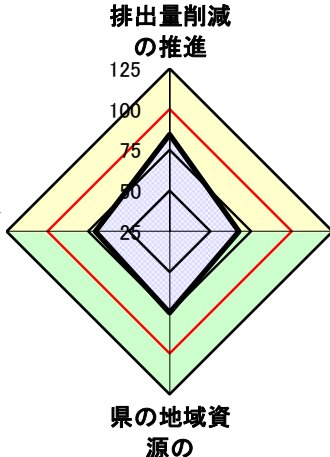
2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				76
		評価点	■ 熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		84.5	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		67.5	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		75.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		70.5	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	良町クリニック	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市南区良町4丁目1番80号	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域・第二種	平均居住人員	30 人	
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	5,000 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年8月30日	
敷地面積	2,849 m ²	作成者	安藤輝男	
建築面積	984 m ²	確認日	2013年8月30日	
延床面積	2,569 m ²	確認者	〇〇〇	



3 熊本県重点評価結果				重点事項の評価(レーダスチャート)	
重点事項総合評価				 排出量削減の推進 安全安心で暮らしやすい社会の実現 県の地域資源の 循環型社会の実現	
 評価点 = 76					
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進		重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現			
 評価点 = 85		 評価点 = 68			
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全		重点事項4: 循環型社会の実現			
 評価点 = 75		 評価点 = 71			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年版			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2010年版		■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)		
良町クリニック									
スコアシート			基本設計段階						
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40			3.1
1 音環境					2.5	0.15	2.8	1.00	2.5
1.1 騒音					3.0	0.40	4.0	0.40	
1 室内騒音レベル		3.0			1.00	4.0	1.00		
2 設備騒音対策		-			-	-	-		
1.2 遮音		1.8			0.40	1.6	0.40		
1 開口部遮音性能		3.0			0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		1.0			0.60	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0			-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0			-	1.0	0.20		
1.3 吸音		3.0			0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境							2.7	0.35	
2.1 室温制御			ゾーン別に冷暖房選択可能		3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0			0.38	3.0	0.57		
2 負荷変動・追従制御性		-			-	-	-		
3 外皮性能		3.0			0.25	3.0	0.43		
4 ゾーン別制御性		4.0			0.38	-	-		
5 温度・湿度制御		-			-	-	-		
6 個別制御		-			-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮		-			-	-	-		
8 監視システム		-			-	-	-		
2.2 湿度制御							1.0	0.20	
2.3 空調方式					3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境					3.6	0.25	3.8	1.00	3.6
3.1 屋光利用			共用部2.5%、住居部1.25%以上		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		5.0			0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		-			-	3.0	-		
3 屋光利用設備		3.0			0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策					4.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 屋光制御		庇、ブラインドの設置		4.0	1.00	3.0	1.00		
3 映り込み対策				-	-	-	-		
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御			病室はベット単位で制御可能		3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.8	1.00	3.6
4.1 発生源対策			F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0			1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策		-			-	-	-		
3 ダニ・カビ等		-			-	-	-		
4 レジオネラ対策		-			-	-	-		
4.2 換気			自然換気面積が居室面積の1/10以上		2.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量		3.0			0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		3.0			-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		1.0			0.50	3.0	0.33		
4 給気計画		-			-	-	-		
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙・喫煙室なし		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					3.3	0.40	4.4	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ			個室12㎡/床		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0			-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		3.0			-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		3.0			1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		天井高 H=2.5m		3.0	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に十分配慮		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		評価する項目が7項目以上		4.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震					3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0			0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0			0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B、Cを使用・Eは不採用		5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新	2.4 信頼性		災害時井水利用 非常用発電設備設置・浸水の危険なし(地上設置)	3.4	0.19	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.29	3.5	1.00	
3.1 空間のゆとり		共用部4.1m、住居部3.8m以上確保 壁長さ比率0.2%以上	4.6	0.31	4.0	0.50		
1	階高のゆとり		5.0	0.60	4.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-		
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4	
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化			ERR値18.7%	4.1	0.30	-	4.1	
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			ERR=18.7%	4.0		-		
集合住宅の評価			3.0		-	-		
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制		基本方針を計画	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6	
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1	節水		節水型水栓・節水便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63	-	-	2.4	
2.1	材料使用量の削減		-	2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22	-	-	2.6	
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-		
3.2	フロン・ハロンの回避		2.5	0.68	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5	
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1	
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-		
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-		
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		5.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2	風害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3	光害の抑制		3.8	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			1.0	0.30	-	-	

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

本件は多くの固定患者が頻繁に長時間利用する診療所のため、落ち着いた環境を提供できるように配慮した。特に、患者のプライバシー確保の為に個室の診療室を多く設けている。

Q1 室内環境

外壁断熱にはウレタン吹付にし、より効率的な断熱を図った。南側及び西側窓には一部ペアガラスを採用している。空調及び照明がゾーン別に制御できる。

Q2 サービス性能

内装は、特別な材料を使わず、一般的なPBクロス下地仕上げ、床は長尺シートとし維持管理が容易になるようにした。更に、ほぼすべての扉は車椅子利用者が操作しやすい引き戸タイプとした。災害時、患者の命を守るため非常用発電設備を備えている。

Q3 室外環境（敷地内）

透水性のアスファルトや敷地内の緑化等を行ったり雨水の散水で遮熱環境の緩和を図っている。

LR1 エネルギー

3階病室部は外壁の後退により、より効率的な断熱効果を図っている。その他の窓にも小庇を取り付けた。自然採光や通風に配慮し窓などを計画した。LED照明を採用している。

LR2 資源・マテリアル

節水型水栓を用いるとともに、散水には雨水を利用する。

LR3 敷地外環境

周辺の環境に馴染むよう落ち着いた色合いの色彩計画や、十分な緑化計画を立てている。光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たしており、夜間は建物内の光が外へ漏れないように遮光カーテンを採用する。北側の日照に配慮し、建築物はより南側に配置した。前面道路側には塀を設けず、周辺に対し開放的な雰囲気配慮している。

その他

熊本市重点評価結果スコアシート

基本設計段階

建物名称 良町クリニック

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		76.4
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				84.5	0.40	33.80
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.2	昼光制御	4.0	0.05			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.1	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				70.5	0.20	14.10
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数